



校章は、学校・家庭・地域の3枚の柏の葉が連携して子どもたちを育てていくことを表しています。

【令和の日本型学校教育】

- 子供の学び
- 個別最適な学び●ICTの活用
 - 協働的な学び●主体的・対話的で深い学び
- 教職員の姿
- 資質・能力の向上●働き方改革
 - 家庭や地域との連携●多様な人材の確保等
- 支える環境
- 学校施設の整備●ICT環境整備
 - 少人数によるきめ細やかな指導体制

【協育】 笑顔と思いやりあふれる「池二」を皆で創造

～CSを活用した安心・安全で楽しい学校づくりを通して～



㉑ つしよに学ぶ 池二の子

- 主体的に学習に取り組む態度の育成
- ・「池二スタンダード」(学習編)の定着
- ・タブレット端末による個別最適な学び
- ・話し合いや協働的な学びの場の充実
- ・ゲストティーチャー等の本物から学ぶ
- 基礎的な知識・技能の定着
- ・授業や環境のユニバーサルデザイン化
- ・週2回の朝学習「基礎基本」の実施
- ・第1学年から算数習熟度別少人数実施
- ・放課後補習の実施
- ・「家庭学習スタンダード」等、家庭との連携
- ・ICT機器を活用した分かりやすい授業
- ・教師の週案作成による計画的な指導
- ・各種学力テスト等の分析と授業改善
- 思考力・判断力・表現力の育成
- ・校内研究「対話・協働・創造を通して自己実現を図る児童の育成」～区独自教科「おたの未来づくり」に係る教科等横断的授業実践を通して～の実施

㉒ んこうな心と体 池二の子

- 楽しみながら体力を高める
- ・休み時間の外遊びの奨励
- ・毎月のロング昼休みの実施
- 目標をもって頑張る態度の育成
- ・自分の体力めあて設定(鉄棒・水泳カード等)
- ・運動会「表現」の取組
- 体力向上
- ・本校オリジナル「ジンギスカン体操」の更新
- ・全校取組(長縄・短縄・マラソン・ストレッチ)
- ・体力テストの分析と授業改善
- 健康の増進
- ・保護者対象に「児童の健康講座」の実施。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き」月間の取組により、規則正しい生活への意識啓発
- ・全学級で栄養士と協働した食育指導の実施
- ・ゲストティーチャーによる「がん教育」「薬物乱用防止教室」「喫煙防止教室」の実施

㉓ こにこ挨拶 池二の子

- 明るい挨拶でコミュニケーションを図る
- ・児童ボランティア「挨拶響かせ隊」の活動
- ・児童発案「池二ピース」の継続
- よさや違いを認め尊重する態度の育成
- ・特別の教科「道徳」の考え話し合う授業
- ・友だち広場(異学年交流)の活動の充実
- ・特別支援教育の充実
- いじめ0「しない・させない・見逃さない」不登校対策「誰一人とり残さない」
- ・毎月「いじめ・不登校対策委員会」で検討
- ・「ほっとルーム」活用・支援員・補助員活用
- ・2か月に1度のいじめ調査の実施
- ・SC活用
- ・「学校生活調査」「学級集団調査」の活用
- ・全学級年3回の「いじめゼロ3箇条」の取組
- 生活規範意識の向上
- ・「周りのことを考え、よいことをすすんでする」
- ・「池二スタンダード」(生活編)の定着
- ・全校朝会、学年集会、学級指導等の共通指導

【新】おおた教育ビジョン

- 目標1◎未来社会を創造的に生きる力の育成
- 目標2◎国際都市おおたを担う人材の育成
- 目標3◎一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎力の育成
- 目標4◎学校力・教師力の向上
- 目標5◎自分らしくいきいきと生きるための学びの支援
- 目標6◎柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境づくり
- 目標7◎学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核としての学校づくり
- 目標8◎生涯学び続ける環境づくり

保護者・地域に信頼される学校

- 「学年担任制」(交換授業・合同授業・担任スイッチ)等による児童の多面的な見取り・指導内容の均一化
- 学校公開アンケート等の御意見への回答
- 「校長ダイレクトポスト」の設置
- 児童アンケートの年3回実施
- 毎月の職員連絡会での服務事故防止研修の実施
- 週1回の教職員生活指導夕会での情報共有
- 学校運営協議会年6回でのコミュニティ・スクールの推進
- 児童の地域行事への参加の呼びかけ
- 夏季休業中の全児童保護者対象の個人面談実施
- 区立図書館との連携
- 読書学習司書による3年生以上での「しらべ学習」の指導(夏季休業前)